

# 水のひびき

「水のひびき」は坂戸市消防団の活動を市民のみなさまによりご理解いただくために企画された広報誌です



写真:消防特別点検

## コミュニティー防災力

### 消防団の復活



栗原 団長

初春のお慶びを申し上げます。本年も災害の少ない年となりますよう念願いたします。

また、日頃のご支援ご協力に  
対し、深く感謝を申し上げます。  
消防団もいよいよ、新しい時代に対応した活動が求められてきました。坂戸市消防団では、平成十九年度に十五名の女性消防団員が誕生し、二十年度には埼玉県初の多機能部隊が発足し、新たな活動が期待されています。

しかし、近年の消防団員の存在意義が、地域の中で共有できないという問題も大きくなって参りました。『自分たちの地域は自分達で守る』という郷土愛護精神で地域に根ざした坂戸市消防団を発展させるためにも、暖かいご支援をお願いいたします。  
この度の広報誌の発行で、より存在意義を理解いただくとともに、信頼される消防団を目指して参りたいと思います。

## 広報誌発行にあたって



伊利 管理者

広報誌の創刊おめでとうござ  
います。消防団の皆様には、生業の傍ら、消防・防災の最前線に立ち、昼夜を問わず身を挺してのご活躍に深く感謝を申し上げます。この広報誌により、消防団の活動を多くの皆様にご理解いただき、消防団の更なる発展をご祈念いたします。

## 広報誌の創刊に寄せて



市議会議長  
小川 直志

広報誌の創刊おめでとうござ  
います。日頃の消防団活動を市民の皆様が知ることは、意義深く重要です。分かりやすい紙面づくりを期待します。

消防団員皆様のご活躍に感謝を申し上げますとともに、今後のご発展をお祈りいたします。

## 消防団活動への市民の

### 理解を期待します



石井消防議長

消防団の皆様は昼夜を問わずの活動に感謝を申し上げ、重ねてご家族の皆様にも感謝を申し上げます。日々、私たちが安心して暮らせるのは、消防団のご尽力の賜物であります。創刊を機に消防団活動が市民の皆様にご理解いただけることを祈念しております。

## 安全・安心の礎を支える 消防団を知ってほしい



稲村 消防長

長い歴史と伝統を誇る坂戸市消防団の広報誌発行おめでとうござ  
います。災害に立ち向う日頃のご尽力に敬意と感謝を申し上げます。この広報誌により身近で活躍する消防団を多くの方々にご理解いただけると思います。消防団のますますの躍進をご期待いたします。

**坂戸を守る消防団の紹介**  
坂戸市消防団坂戸分団第1部

記念すべき第一回目は坂戸市消防団坂戸分団第1部（以下、坂戸1部）の紹介です。

取材当日は、日頃の訓練と同様に、放水訓練とのこと。しかし、あいにくの雨模様で詰所にての室内講習+運転訓練に変更となりました。

まず、室内講習では、地区防災会主催の防災訓練における役割について事細かい説明が行われました。林部長の言葉の中には放水訓練をただのデモンストラーションにとらえず、協力という立場での防災訓練への参加ながら、消防団のすべき役割を与えられた中で、最大限アピールしようという強い姿勢が感じとれました。

部長さんの姿勢に感心していると突然、団員の携帯電話が鳴り始め、運転訓練に突入！

現在、消防団の指令伝達手段は無線のほかに団員の携帯電話へ個々にメールにて指令が行われております。それに習い訓練も団員に、想定現場が送信さ

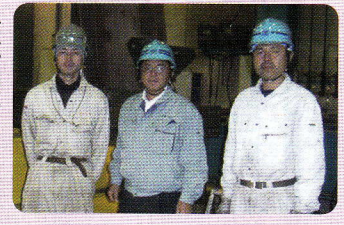


れ、指令を受け取った団員が安全を確認しながら消防車両の運転を行い、想定現場に一番近い水利（防火水槽、消火栓、水路川など）を確認して戻ってくる訓練をしていました。

しかも一度だけではなく、戻ってきてはメール着信↓出勤を1時間繰り返しており、迅速な出勤が訓練の賜物であると納得させられました。

また、坂戸1部の詰所は、冬場は火の見櫓がイルミネーションで彩られます。これは使われなくなった火の見櫓の有効活用と地域との連携を図るために行っているとのこと。

このように地元防災会や商工会といった地域との密接な関係が、部の運営を円滑にし新入団員確保などにつながってゆくのではないかと感じました。坂戸1部は定数に対して欠員があり、特に新入団員確保については頭を悩ませています。このような地道な地域貢献が実を結ぶよう、地域の皆様にもご協力をいただきたいところです。



入団して二十三年。『郷土を思い、郷土を愛する心』を培い、数多くの地元の『先輩方や後輩達と出会えたこと』が、今、自分の何よりの『財産』という。人情に厚く、そうした人との縁やつながりをずつつと大事にし、今も大切にしている。社員にも家族のような思いを寄せ、温かく、時に、敢えて厳しくも接する。

地元塚越で父の代からの家業である鉄骨業を営み、ビル、マンション、工場などの建設に使われる重量鉄骨の製作に携わる。『常に災害に備え、厳しい訓練を通して、団員の結束を図り、各自の知識・技術を高め、実践力ある消防団にしていきたい』との抱負を語る。さらに団員が丸となる事業改革を目指したいとも。『坂戸市消防団とは』との質問に『若い組織で団結力ある消防団』と答え、引き締まった表情で胸を張った。



三芳野分団長 (団員歴18年) 萩野周一さん トーヨーライスセンター関東工場勤務

にっさい花みず木にある「金芽米」で有名な精米工場に、設立当初から勤務している萩野さん。勤務の終業時刻が不規則なことが家庭生活や団活動においても悩みの種という。奥様と小学校一年生の娘さんの三人家族。いざ有事の際は家族からの「気をつけて行ってき

て下さい」との言葉を胸に現場に赴く。「消防団が、これまで自分を成長させてくれた」と言っただけからない。三芳野分団を率いて二年。「団結・規律・士気」と「人のつながり」を一層重んじ、さらに強固な相互信頼と和のある分団にしていきたいと語る。

最後に、『消防団員としての誇り』について尋ねた。即座に『愛する地域の役に立つこと』との答えが返ってきた。普段と変わらぬ柔らかな表情がひときわ輝いて見えた。



**ついてますか? 住宅用火災警報器**

消防法及び市町村条例により、全ての住宅に火災警報器等の設置が義務づけられました。恐ろしい火災から大切な生命、財産を守るために住宅用火災警報器を設置しましょう!

**坂戸市消防団HP開設**

坂戸市消防団では今春ホームページを開設・公開予定です。消防団の活動情報を定期更新いたしますのでご期待下さい

## ～消防団の主な行事～

- 4月・辞令交付式
- 6月・越辺川・高麗川水害予防組合水防演習  
(3年に1度：坂戸・毛呂山・越生合同)
- 7月・消防操法大会(隔年)
- 8月・坂戸よさこい警備
- 9月・坂戸市総合防災訓練  
※団員互助会研修会及び家族慰安会  
(ディズニーリゾート・ぶどう狩り)
- 10月・車両特別整備  
・消防特別点検予習
- 11月・消防特別点検  
・秋季全国火災予防運動
- 12月・歳末特別警戒  
1月・消防出初め式  
3月・春季全国火災予防運動  
・坂戸市消防団消防演習
- ※その他  
新入団員訓練などがあります。

## 写真で見る 消防団の活動

4月



月の輪工法



新入団員整列!

6月



応急手当て

9月



防災訓練



8月

坂戸よさこい警備



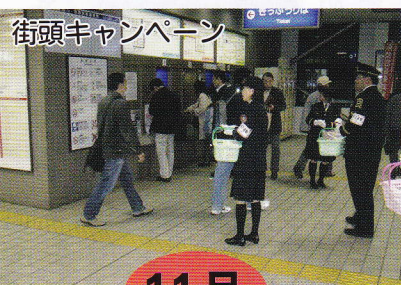
7月



消防操法大会

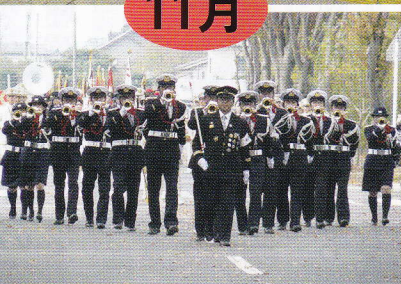


火点へ突進!!



街頭キャンペーン

11月



ラッパ隊行進中



古式腕用ポンプ

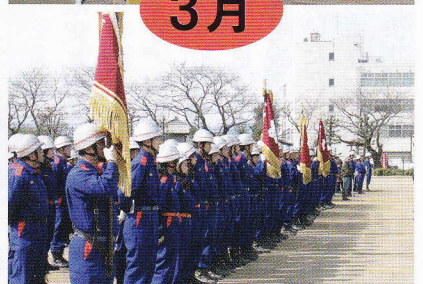
1月



多機能部隊




3月



消防演習

部	管轄	車庫・詰所
第1部	日の出町、本町、千代田一～四丁目、八幡、南町、緑町、関間、山田町	日の出町6-20
第2部	元町、仲町、泉町、粟生田、伊豆の山町、溝端町、薬師町、清水町	薬師町3646-5
第3部	浅羽、浅羽野、花影町、三光町、中富町	浅羽野2-2-3
第4部	片柳、上吉田、末広町、芦山町、柳町、鎌倉町、大字坂戸	片柳1830-1

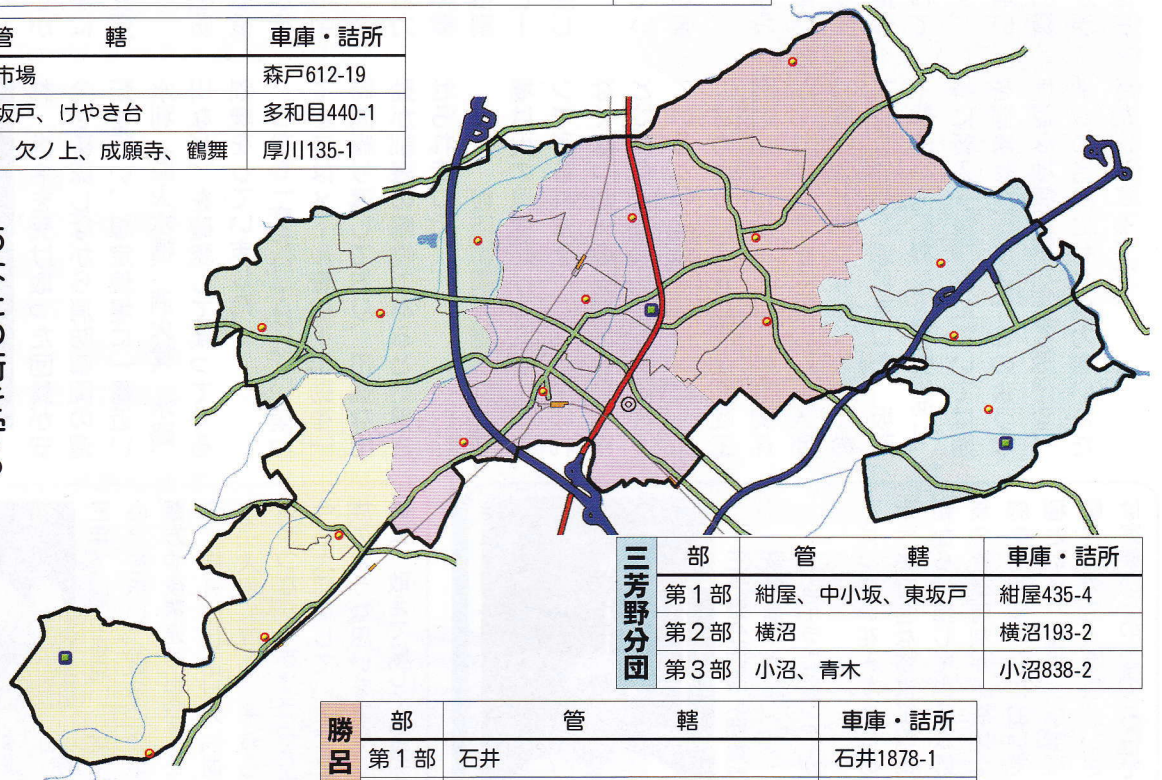
 消防署・分署

 消防団車庫・詰所

 市役所

部	管轄	車庫・詰所
第1部	新堀、中里、塚崎、北大家、北峰、掘込、にっさい花みず木三・四丁目	新堀266-1
第2部	小山、善能寺、竹之内、長岡、北浅羽、にっさい花みず木五・六・七丁目	小山26
第3部	今西、金田、沢木、東和田、新ヶ谷、戸口、にっさい花みず木一・二・八丁目	戸口450

部	管轄	車庫・詰所
第1部	森戸・四日市場	森戸612-19
第2部	多和目、西坂戸、けやき台	多和目440-1
第3部	萱方、厚川、欠ノ上、成願寺、鶴舞	厚川135-1



部	管轄	車庫・詰所
第1部	紺屋、中小坂、東坂戸	紺屋435-4
第2部	横沼	横沼193-2
第3部	小沼、青木	小沼838-2

部	管轄	車庫・詰所
第1部	石井	石井1878-1
第2部	島田、赤尾	島田1317-1
第3部	塚越、戸宮、栄、千代田五丁目	塚越1255-2

坂戸市消防団管轄地図

あなたの街を守る  
消防団をご存知ですか



# あなたの力が必要です！

坂戸市消防団ではふるさとの安全を守る消防団員を募集しております  
 資格：坂戸市内在住・勤務の18歳～45歳未満の方（男女とも）  
 お問い合わせ：消防本部庶務課（☎281-3118 内線234）

編集後記

坂戸市消防団広報委員会が発  
 足して七ヶ月。ここに、団広報  
 誌「水のひびき」創刊号が発行  
 の運びとなりました。  
 本誌の発行にあたり、様々な  
 苦勞がありました。が、たくさん  
 の方々に支えられて無事創刊で  
 きましたことに、広報委員一同  
 安堵し、関係の皆様へ感謝の気  
 持ちで一杯です。

この広報誌「水のひびき」を  
 きっかけにして、市民の皆様へ  
 消防団や消防団活動に対し、一  
 層のご理解とご協力をいただい  
 れば幸いに存じます。

【広報委員会メンバー】

委員長 大川 泰弘（団本部）

《広報誌担当》

静 鉄也（入西3部）

中川 智香（女性部）

浅海 純哉（勝呂2部）

《ホームページ担当》

安野 悠樹（坂戸1部）

奥園 恵（女性部）

武藤 修一（大家2部）

栗原 正和（三芳野1部）

本広報誌の愛称は、団員公募  
 による全七十三点の作品から、  
 二度の審査を経て「水のひびき」  
 （入西分団第2部の作品）を選出  
 し、採用させていただきました。